

東山浄苑での法要のご案内

志経(予約不要)

ご参苑の折、納骨御仏壇にて、お墓参り勤行をお勤めいたします。志経御志は三千元からにて申し受けれます。

年中行事志経(予約不要)

ご参苑の折、納骨御仏壇にて、初盆やお盆、彼岸会といった年中行事の法要をお勤めいたします。

特別墓前・墓前永代経

(予約不要)

ご参苑が無くて、毎月命日には納骨御仏壇にて、お墓参り勤行を永代(十年、百年)に亘ってお勤めいたします。

本願寺春秋

特別墓前永代経をお納めの方には毎月命日のお墓参り勤行に加え、祥月命日や年忌の法要をお勤めいたします。

Table with 4 columns: 種別, 永代年数, 特別墓前御志, 墓前御志. Rows include 5等, 4等, 3等, 2等, 1等, 特等.

*右記御志には、清掃費・莊嚴代も含まれています。

申経(要予約)

各本堂にて、年忌、祥月、初盆、納骨等の法要をお勤めいたします。

申経御志三万円(合同読経)からにて申し受けれます。五万円より別座読経(個別)での読経となり受けれます。

永代経(要予約)

各本堂にて永代に亘って読経する御経の紐を解く永代経。お紐解法要をお勤めします。その後毎年祥月命日には毎朝本堂で勤まる晨朝後、永代経総経として永代(年数)に限りなく(に亘り勤められます)。

年中行事志経御志は二万円(初盆のみ三万円)からにて申し受けれます。永代経御志は二万円(初盆のみ三万円)からにて申し受けれます。

Table with 2 columns: 午前, 午後. Rows show time slots from 10:00 to 3:30.

申経・永代経 読経お扱い時間 (妙寶院本堂又は嘉枝堂本堂にて)

葬儀、ご自宅等での法要のご案内

ご自宅での年忌法要(要予約) 自宅にお出向き、年忌法要をお勤め致します。年忌法要お布施は三万円からにて申し受けれます。

御移徙法要(予約不要)

初めてのご参苑、初めてのご納骨の際に、納骨御仏壇を新たに開かれたことを御本尊にご報告申し上げる御移徙法要をお勤めいたします。御移徙法要御志は一万円、又は三万円から申し受けれます。

葬儀、ご自宅等での法要のご案内

ご葬儀、ご自宅等での法要予約・お申し込みは 東山浄苑東本願寺 尚書(総合受付)まで

075-541-8391

正信燈籠

石燈籠に法名、又は寄進者のお名前を刻んだ個別銘板を貼り付け、御志を永代に亘りお伝え致します。何口でも申回でもご寄進頂けます。お申込みから約三週間でお取り付けたいたします。御志三万五千円(一口)から申し受けれます。縦・七・五センチ、横・二・九センチの銘板です。

仏像彫刻の会のご案内

僧侶に習い木彫の仏像を彫刻します。毎月三回(全十二回) 毎週日曜日に開催予定(月謝三千元)。十歳以上ならどなたでもご参加いただけます。随時受付中です。お問合せは東山浄苑東本願寺 尚書(075-541-8391)まで。

佛恩報謝団活動のご案内

佛様とご先祖への感謝の思いをもって、報恩行に参加しませんか。大谷暢順御法主台下御著作の輪読会の定期開催等も行っております。

結縁協力金

御親戚・御友人をご紹介いただき、納骨御仏壇を契約された場合、ご紹介いただいた方へ「結縁協力金」をお渡しいたします。総合受付(尚書)で紹介用パンフレットを準備しておりますので、お気軽にお問い合せ下さい。

他霊園での納骨・改葬法要

他霊園・墓所にお出向き、納骨の際、また改葬の際の法要をお勤め致します。納骨・改葬法要のお布施は三万円からにて申し受けれます。

浄苑以外での各種法要

ご自宅や会館、霊園等に出向き、各種法要をお勤め致します。 *ご葬儀、ご自宅等での法要の際には、上記お布施の他に、お車代が必要となります。

各予約不要の読経は、午前九時より午後四時三十分まで随時受付いたします。

行事期間はお申し込みをお待ちいたたく場合もございますので、ご了承ください。

法要予約お申し込みは 東山浄苑東本願寺 尚書(総合受付)まで 075-541-8391

仏教と科学のサロン

本願寺御門主台主権によるサロンです。常識や思い込みにとらわれず、柔軟に考え、多角的に仏教を読み解きます。オンライン講座等を実施していますので本願寺事務局(075-541-8391)にお問い合せください。

日本と日本人の明日のために

最新刊 好評発売中! 今こそ歴史に学び、現代の閉塞を打ち破ろう!

産経新聞出版刊 1,430円(税込)

創建五十周年記念

浄苑最上、最高の納骨壇・信楽壇のご案内

神佛習合のみ教に結縁 永久の安らぎを

極楽浄土を想起 信楽堂

嘉枝堂地下三階に信楽壇専用の特別な御堂・信楽堂を建立しました。檜造りの清楚な扉を開けると、そこにはおごそかな照明と内装、神佛習合のみ教に包まれた、まさに極楽浄土を想起させる荘厳な世界が広がります。

信楽堂納骨者だけの日本初・神佛習合の礼拝所(御莊嚴)

威容を誇る信楽壇納骨者専用の礼拝所(御莊嚴)は、本邦初となる神佛習合のみ教の結晶で、信楽壇の納骨者だけが参詣できます。

御本尊は、浄苑嘉枝堂本堂とここにしかない、御法主台主下ご発案のガンダーラ式、白木の阿弥陀如来立像、世界遺産・スリランカ佛蘭寺から贈られた、日本佛教諸宗を抱合する釈尊坐像、そして、天照大御神、親鸞聖人が「和国の教主」と仰がれた聖徳太子、本願寺の寺号を下賜された亀山天皇、親鸞聖人と連如上人に大師号を贈られた明治天皇の天牌をご奉安。

信楽壇納骨者の為、毎朝には伝統ある本願寺の法式に則った勤行(晨朝)、春秋彼岸、盂蘭盆会、報恩講、修正会等、各年中佛事も勤まり、お念佛の声が高らかに各信楽壇へ届きます。



日本初・神佛習合の礼拝所(御莊嚴)



真の佛弟子としての歩み

法統継承之証

割当時に授与される法統継承之証には、釈尊、天照大御神から御法主台主下まで連綿と続く神佛習合の法統の末流に、信楽壇納骨者とそのご家族の俗名、法名が、御法主台主下のお許しを得て、お一人ずつ特別に本願寺の御連枝によって揮毫されます。

これにより、蓮如上人が「足手ヲハコビ」「報恩謝徳ノ懇志ヲハコブ」と仰せられた如く、少なくとも一年に一度は浄苑に参詣して懇志を運び、神佛や先祖への感恩の惟いに包まれる真の佛弟子としての歩みが始まります。

本願寺懐中名号

蓮如上人は、「本尊は掛け破れ」と仰せになるとともに、数限りない程の御名号を門徒に附されました。これによって御名号が各家庭に奉安され、我が国の家庭佛壇となり、日本佛教は革新的な発展を遂げることとなります。そして、何よりも多くの日本人の人生はみ佛とともにある、感恩の惟いと喜びに満ち溢れたものとなったのです。

そこで、信楽壇納骨者が家庭で常に御本尊を拜む生活を送るべく、本願寺懐中名号(南無阿弥陀佛)を年々、年末から年初にかけて授与します。佛恩に感謝し、本願寺懐中名号とともに新年をお迎え下さい。

なお、旧年の本願寺懐中名号は浄苑でお焚き上げをします。



Table with 3 columns: 白蓮, 寶蓮, 大蓮. Rows include 内寸 (height, width, depth) and 莫加金 (price).

壇籍者の皆様へ 信楽壇をご親族、ご友人へご紹介下さい。資料をご希望の方は、尚書(総合受付)にご連絡下さい。 東山浄苑東本願寺 午前9時~午後5時 電話 075-541-8391 (尚書・総合受付)